



『中国の都市流通—中国の商店街
問題を中心に』

田中 道雄
流通科学部 教授 著
税務経理協会



『テクニカルコミュニケーション
—マニュアル制作ディレクション
試験ガイドブック—』

山本 博樹
流通科学部 助教授 共著
テクニカルコミュニケーター協会



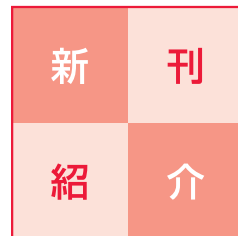
『テクニカルコミュニケーション
—テクニカルライティング試験
ガイドブック—』

山本 博樹
流通科学部 助教授 共著
テクニカルコミュニケーター協会



『生化学、生理学からみた骨格筋に
対するトレーニング効果[第2版]』

角田 聡
経済学部 教授 共著
ナッブ



『不況克服の経済学
—「新正統派ケインズ主義宣言」』

丹羽 春喜
経済学部 教授 著
同文館出版



『東南アジアの経済発展
—経済学者の証言』

安場 保吉
経済学部 教授 著
ミネルヴァ書房



『心の教育とカウンセリング』

安田 一之
国際学部 助教授 共著
八千代出版



『符号理論とその応用』

笠原 正雄
情報学部 教授 共著
培風館

大阪学院大学広報

L'horloge ロルロージュ No.124
February 2004

- 発行 大阪学院大学
大阪学院短期大学
- 編集 広報部

〒564-8511
吹田市岸部南二丁目36番1号
☎(06)6381-8434(代表)

URL
<http://www.osaka-gu.ac.jp>

編集後記

8月に、ギリシャ(アテネ)で夏季オリンピックが始まる。野球をはじめ様々な種目で
の日本選手の活躍に期待が集まる。そこでギリシャについて一言。ギリシャのキーワ
ードは、「海・船・港」である。エーゲ海の美しさ・明るさ・青さは日本でも歌や小説に
取り上げられ、アテネやピレウスといった港はロンドンやニューヨークと並ぶ海運取引
のセンターである。そして、世界で最もたくさん船を持っているのはギリシャであり、
長年にわたり、ギリシャはたくさんの船を日本から買い取ってくれている。ギリシャは
山国であり、地震国である点も日本と似ている。今からオリンピックが楽しみだ。

L'horloge

Osaka Gakuin University
Public Relations Bulletin

ロルロージュ No.124
February 2004

ESSAY

金丸 輝康

FOCUS

DEC

(Digital Education Center)

SUCCESS

これからの
スーパーマーケットビジネス

CAMPUS LIFE

CAMPUS NEWS DIGEST

INFORMATION

新刊紹介

ESSAY

11

『ライトスタンドの喜び』

2003年10月24日、私は甲子園球場のライトスタンド（外野席のタイガース応援側）にいた。昨年のプロ野球日本シリーズ第5戦である。チケットは電話予約でのみ発売されたが、中学時代の友人が一説には1分間に54万コールあったという超難関をくぐり抜けて電話をつなぎ、そのおこぼれにあずかったのである。

敵地福岡ドームで2連敗、本拠地甲子園に戻って2連勝した後の第5戦目。この日は松山選手や金本選手の活躍で3-2と競り勝ち、日本一に王手をかけた日であった。我々はヒッティングマーチ（選手別の応援歌）や六甲おろしを歌い、勝利を堪能した。球場を出てからも最終電車ぎりぎりまで騒ぎ続け、次の日は声も出ないありさまだった。私が見た中でも、最も貴重な一試合になった。

私が初めて甲子園球場に行ったのは、1992年の春である。ファイターズに移籍した新庄選手がタイガースの一軍で活躍を始めたところである。岡田新監督・オマリーコーチも当時はまだ現役であった。つまり、私のタイガースファン歴はまだ10年ほどにしかならない。虎キチとしてはまだまだ未熟者であるが、この10年に甲子園で経験した試合の中には、いくつか思い出に残っている試合がある。その中で一つだけ紹介させていただきたい。

それは、2001年10月1日のジャイアンツ戦である。この日は、相手にとっても特別な日であった。長嶋監督が最後の指揮を執るゲームであったからである。そして我々タイガースファンにとってもその日は和田豊選手引退の日であった。

その数週間前、私は大学主催のカナダアウトドア研修で知り合った学生たちと甲子園に行っていた。その日は会心の勝ち方で、「また来よう」と帰りに次のジャイアンツ戦のチケットを買ったのである。数日後、和田選手引退のニュースを聞き、我々が買ったチケットが引退試合のチケットとなったことを知ったのである。

試合は5-0で勝った。特別なライバル心を燃やすジャイアンツに完封で勝ったのだ。これ以上ないというほどうれしい勝利のはずなのに、試合後の六甲おろしにはいつもの覇気はなかった。試合後に行われた和田選手の引退セレモニーに、我々は勝利の喜びを忘れてしまっていた。引退の挨拶、そして場内一周の間、スタンドからは和田選手の名前が叫ばれ、多くの人が涙を流していた。球場を出てからも、和田選手のヒッティングマーチを歌い続けながら、駅まで歩いたことを思い出す。

甲子園球場のライトスタンドは、私の想像していたものとは全く違っていた。

多くの感動や喜び、時には失望を与えてくれる甲子園に行くきっかけを作ってくれたのは、1992年当時、アルバイトをしていた塾の仲間であった。実はそのころ、私は野球にもタイガースにもほとんど興味がなかった。どのチームが勝とうと、私にとってはどうでもいいことであつたし、野球などテレビで見ればいいと思っていた。「絶対おもしろいから見に行こう」と何度も誘われ、「1度くらいなら」と思って行ったのが最初である。

しかし、1回裏のタイガース攻撃の時点で、すでにそれまでの野球やタイガースに対する私の意識は変わっていた。「すごい！おもしろい！楽しい！」現実の甲子園球場のライトスタンドは、私の想像していたものとは全く違っていた。そこは別世界であった。ファンたちは、単に野球を見ているのではなく、タイガースの応援・ライトの雰囲気を楽しんでいた。当時も今も、多くのファンたちはタイガースのはっぴやユニフォームのレプリカを着て、帽子をかぶり、鉢巻きをしたりしている。その何万人というファンが、応援団の合図一つで一斉にメガホンを打ち鳴らし、ヒッティングマーチを歌い、選手の名前を叫ぶのである（この統率たるや見事なもので、あの団結力がうちの会社にも欲しい……とある企業の社長に言わせしめ



金丸 輝康 流通科学部 助教授
担当科目：マーケティング論、消費者行動論
趣味：野球観戦
著書：『消費者研究における3つのアプローチ』（大阪学院大学流通経営科学論集）

たほどである）。タイガースの選手がヒットを1本打てば、それだけでライトスタンドは大騒ぎになり、得点が入ろうものならお祭り騒ぎである。ファンの歓声、メガホンの音が地響きになる。そのエネルギーたるや、すさまじいものがある。

タイガースの選手がホームランを打ったときや試合に勝ったときなどは、ファンたちは心底うれしそうな、生き生きとした表情になる。あらん限りの声を張り上げ、感情を爆発させる。逆に三振や、ミスしたときなどは、たとえタイガースの選手といえど、怒り、罵倒される。また、逆転されたときや負けたときは、失望で無言になる。ライトスタンドのファンたちは、タイガースの選手たちやそのプレーに一喜一憂し、その感情を、みんながストレートに表現しているのだ。

「タイガースが大好き」という共通点から、見知らぬ人でも仲間意識を持つようになる。ホームランが出たときなどは、前後左右の人たちとお互いのメガホンをたたき合って喜びを分かち合う。隣のシートの人に、いきなり抱きつかれたこともあった。前列に座っていた人が急に私たちの方を振り向き、「唐揚げ食べますか？」と声をかけてくれたこともあった。今年は、パチョレック（1992年～1993年、タイガースにいた外国人選手）のTシャツを着ていて、「パチョレックやん！懐かしい！」と話しかけられたこともあった。



人生をより豊かにするためには みんなで分かち合える共通の認識を作り上げる必要がある。

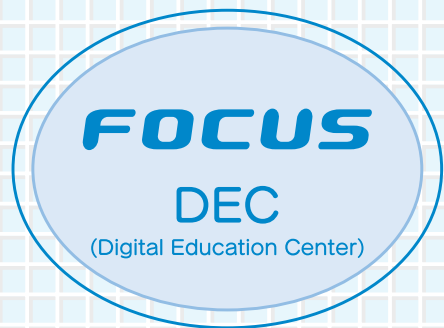
ライトスタンドは、野球を見たり、タイガースを応援する場だけでなく、パワーを発揮したり、もらったりできる場であり、自らの感情を発する場であり、また、周囲の人たちと気持ちを共有できる場でもあるのだ。生きてゆく中で大切なことが、ライトスタンドでは容易に実現できる。そして、それができるのは「タイガースが大好き」という共通点で結ばれた仲間同士であるという共通の認識、安心感があるからだ。お互いにライトにいること自体が、それを保証しているのだ。

しかし、日常生活の中において、互いに仲間であるという共通の認識を持つためには、それを確認するプロセスが必要である。もしくは、共通の認識を作り上げる努力が必要になる。最近の学生を見ていると、それらの努力を避けているように見える。お互いに話したり、一緒にいたりするのを見ても、以前に比べて人間関係が浅くなってきているように思える。もちろん、すべての学生がそうであるわけではない。しかし、そう感じさせる学生が増えてきているように思うのである。それは、彼らが共通の認識を作り上げる努力を避けていることと、彼らにとってのライトスタンドが存在していないことが理由であろう。一人ひとりの生活の中で、それぞれのライトスタンドを持つことができれば、彼らの人生はより充実したものになるはずである。

幸い、大学にはゼミナールというものがある。ゼミナールが、彼らのライトスタンドとしての役割を果たせるようになれば、彼らの人生を豊かにする一助になるかもしれない。それが我々の立場でできることであり、努力していかなければならない重要な仕事の一つであると考えている。

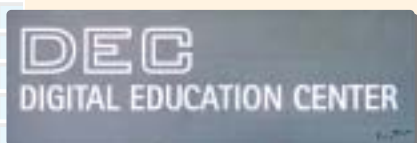
私のつたないエッセイを最後まで読んでいただいたかたがた、ぜひ一度甲子園に足を運んで、タイガースの試合とライトスタンドを楽しんでいただきたい。そして、そのときに確認してほしいものがある。3塁側内野席最上段の照明灯のすぐそば、ライトスタンドからほぼ正面の位置に、大阪学院大学の広告板があるのだ。一緒に行ったときに学生に教えると、みんな声を出して喜ぶ。私も、甲子園に行くたびにそれを見て、関係者の一人としてうれしい気持ちになる。皆さんにも、ライトスタンドの喜びを経験し、甲子園に掲げられた大阪学院大学の文字をぜひ見ていただきたい。

次回4月号のESSAYは、大久保 卓治 法学部 助教授にお願いします。お楽しみに！



平成14年10月に開設したDEC(15号館2階)は、教育にマルチメディアを有効に導入することにより、教育の向上を図るセンターです。
DECでは、開設以来様々な取り組みを行っています。
ここでは、これらの取り組みと今後の展開について紹介します。

DECの取り組み



授業のデジタルサポート

遠隔教育の実施

デジタル教材の開発

イベント等の実施

DECで働く教員・スタッフ



DECでは、教員とスタッフが協力して働く『教職協働』を推進しています。『教職協働』を進めることで、本学の教育活動がより活発になることを目指しています。

DSS (Digital Support Service)

DSSは17号館2階 教務課の横にあります。
ここでは教材のデジタル化や、授業におけるマルチメディア利用のサポートなどを行っているほか、教員を対象とした情報セミナー(DSSセミナー)を実施しています。教育効果を高めるためのマルチメディアの有効活用を支援しており、そのメリットを学生に還元できるよう努めています。



Distance Education Program



平成15年度後期より始まった「Distance Education Program」で、アメリカに在住する講師が本学キャンパスに向けて授業を行う遠隔授業「Communication Skills」の実施をサポートしています。
今後は、このプログラムのコンテンツを充実させ、本学学生が国内外の著名な講師の現地からの授業をキャンパスにしながら受講できる機会を増やしていく予定です。

Digi Tales

現在、外国語学部 R.A. タニモト助教授が本学の英語教育で実践している「ストーリーテリング」手法をマルチメディア化し、パソコンを使って自学自習ができるマルチメディア・インタラクティブ語学教材「Digi Tales」を教育資産として制作しています。
今後も様々なデジタル教材(コースウェア)の開発に取り組んでいきます。



デジタル絵日記コンテスト



デジタル教材「Digi Tales」の制作に関連して、高校生を対象とした「デジタル絵日記コンテスト」を実施し、優秀な作品に対して表彰式を実施しています。
「ストーリーテリング」をベースに、参加者は英語でデジタル絵日記を制作し、パソコンを使ってプレゼンテーションを行います。本年度は、大阪府教育委員会・吹田市教育委員会・箕面市教育委員会・NHK大阪・読売新聞社などから後援をいただき、実施しました。

DECでは今後も様々な取り組みを実施します。
お問い合わせは dec@uta.osaka-gu.ac.jp まで



これからの スーパーマーケットビジネス ～大阪学院大学OBが語る～

— 座談会出席者 — (順不同)

西山 進 スーパーマーケット NISHIYAMA 代表取締役社長
商学部 昭和46年卒業

企業情報学部 教授 狩俣 正雄 就職部長 (同会)
国際学部 教授 片山 邦雄 広報部長

【片山】 本日はお忙しい中ご臨席をいただき、ありがとうございます。それではよろしくお願いいたします。



片山 邦雄
国際学部 教授
広報部長

【狩俣】 早速ですが、これまでのスーパーマーケットNISHIYAMAの取り組みを伺いたいと思います。経営戦略や今後の展望、学生時代のことなども含めて、いろいろお聞かせいただきたいと思います。

【西山】 はい。まず、私どもは「スーパーマーケットNISHIYAMA」という商標で商売をしています、法人の正式名は「西山寛商事株式会社」と申します。実はお菓子の問屋業が



始まりです。これが本来の商売で、私の代からスーパーマーケットに専念いたしました。

現在、我々スーパーマーケットを含む小売業では、不況下のオーバーストアで競争の激化という問題点を抱えており、大手といえども従来の売上が維持できない時代に突入しています。そうした中、我が社は小規模ながら様々な点で注目されています。

その一つは「ミールソリューション」、分かりやすく言うと「おかず」ですね。すし・総菜などの半完成料理で、例えば、あと揚げればすぐ出せるものや、ちょっと手を加えたらいいカテゴリーのことを、「ミールソリューション」と言います。スーパーマーケットによるミールソリューション。これを我が社では時代に先駆けて取り入れております。

では、なぜ我が社の「ミールソリューション」が注目されるのかといいますと、背景として日本の様々な現状が考えられます。少子化と高齢化社会、またそこに不景気による共稼ぎで、主婦の多くが「手作りの料理を作る時間がない」ということです。日本の食料品市場の特性は、欧米に比べて、生食・生鮮食料品（野菜や果物、肉、魚など）の比率が高いのですが、我が社はこれに対していち早くミールソリューションを取り入れ、そこに特化してまいりました。この取り組みは、アメリカの先進的なスーパー

SUCCESS

マーケットともびったり合っており、中小スーパーマーケットが生き残る一つのモデルではないかというふうにいわれています。

デパ地下（デパートの地下食料品売場）が最近注目されていますが、これも結局ミールソリューションの固まりです。デパ地下は商圏が広いため、あのスタイルで通じるのですが、スーパーマーケットの場合は、商圏の関係上なかなかそういうわけにはいかないのが現状です。

これらのことから考えると、我が社が現在取り組んでいるこの分野というのは、21世紀という大きな時代にマッチした一つの革新ではないかと思っております。



西山 進
スーパーマーケット
NISHIYAMA
代表取締役社長
商学部 昭和46年卒業

【狩俣】 ありがとうございます。最近の経営学では、会社それぞれをコ



ンピテンシー（資産・能力）という概念で語られることがあります。そういう面ではスーパーマーケットNISHIYAMAのコンピテンシーはミールソリューションではないかと思えます。それでは次に、社員教育で重要視されていることをお聞かせください。

【西山】 はい。その前に、私が大阪学院大学在学中にスキーに情熱を燃やしていたことをお話しします。私は商学部卒なのですが、自分で思っているのは「大阪学院大学スキー競技部卒」だと。というのも、私はスキーを通じて、様々なことを学ぶことができたからです。

3年前にも、標高8611mの「K2」という、いちばんあこがれていた山にも遠征しました。現在でも様々なことに挑戦する原点は何かといえ、私は大阪学院大学スキー競技部



大阪学院大学の同期生（スキー競技部）
写真左から2番目 西山氏

の中で学んだ、物事に取り組む姿勢や、意欲・粘り強さだと思います。そして、社会に出てからも様々なことを学んでいます。

しかし、今の若い人たちや学生の多くは、「情熱を傾けられない」「目標設定ができない」「人生とは何かを考えられない」というような動物園の動物みtainな状況に直面しています。スーパーマーケット業の中でも、やはりこの人材的な問題が大きく、そこを何とかしなければと思っています。

このことから、当社では「敬天義塾」という勉強会を社内に行っています。2年目の社員が対象で、希望者だけに行っています。内容は前述のように、「ものの考え方、人生とは、生きるということは何か」というものです。例えば、立派な学校出身で大会社の社長が、哲学不在でポリシーがなく損得だけで経営していたら、バブルのときに狂乱して倒産に陥りました。このようなことが、私は、社会が持っているいちばん負の部分だということに見えていますし、そういうことを何とかしないといけないと思って、このような会を行っています。

【狩俣】 確かに今の若者を見てみると、自分の人生観とか理念というものを考えて行動するというよりも、今おっしゃったような損得で動いている傾向がものすごく強いのではないかと感じます。そういう面で、



ある種の技術的な教育だけに走りがちな大学教育の問題もあるかと思っています。

そういう教育と関連づけて、スーパーマーケットNISHIYAMAの経営理念・哲学をさらにお聞きしてもよろしいですか。



狩俣 正雄
企業情報学部 教授
就職部長（司会）

【西山】 今の「敬天義塾」もそうですが、我が社では一つの理念として、四つの提言と創業の精神という柱を立てています。大阪学院の「建学の精神」をまねて、当社は「創業の精神」というのを作ったんです。それは何かといえば、「会社は人間が幸せになりうる唯一の場」ということです。働かされるのではなく、自ら工夫し、考え、幸せを実現していく唯一の場であると。また、会社は人生の道場として自分を高めながら働いていかなければなりません。



我々は、会社での経済活動を通じて、いかに自分を高めていくかということを柱にしております。

経営の醍醐味というのは、「なぜ私が山に登るか」ということと一緒に私が山に登るか」ということと一緒に死ね。しかし私は「山で死ぬようなやわな社長だったら経営者には向かない」と考えています。ところが、あまりにも安易に経営者になる人が



K2 (8,611m) をバックに

多すぎる。いろいろなことにチャレンジするのはよいことですが、間違ったら自分がそこで腹を切って死ぬくらい覚悟を持って経営している人は少ないと思います。大概の経営者はそのあたりが無責任です。山では、運が悪ければクレバスに落ちる危険性もありますし、命を落としてしまいます。非常に用心深い人でないと生き抜けないんです。やはりそういう「生きるか死ぬか」という経験がないところが、今の人たちの弱さになっているのかもしれない。だから、経営というものは、「無限の可能性があるけれども、逃げてはならない」と感じております。

もう一つ大事なことは、前述のことと併せて、まさに「人間力」の分野だと考えています。また、それを理解した人をどれだけ持っているかということにもなります。私は学生時代、自由にスキーに情熱を燃やしました。そして、社会へ出てからもスーパーマーケットという次の目標に巡り会いました。よい先生に出会い、よい友達に恵まれて努力したことが、現在のよい結果につながっているのだと思います。

そうした中で、「チャレンジ」する精神が重要です。当社でいえば、常に既成概念にとらわれずに、大手が「無理だ、できない」といったことをやろうと思います。

我が社は、京都府の北部にあるのですが、実は私どもの近辺にはもう

店を出しておりません。なぜかというと阪神間といういちばんの激戦区で勝負したいと考えているからです。激戦ですが、やはり阪神間はたくさんの人が住んでいます。今、私自身ミールソリューションを柱に、このような新たなことにチャレンジしようと考えております。

【狩俣】 今度は学生に対するアドバイスをお願いしたいと思います。就職を担当している者として最近気になる現象は、一つは学生のフリーター化が増加してきているということです。もう一つは、せっかく就職しても3年以内に約30%の学生が辞めてしまうといった問題です。このようなことから、学生が自分の適職みたいなものを見付けるために、何かアドバイスをお願いできますか。

【西山】 やはり一芸といえますか、とにかく自分の得意分野の一つ作るということです。その得意分野を身につけるまでのプロセスが、社会へ出て成功していくプロセスと同じなのです。





大概の人は、よくいわれているように辛抱ができない。楽な生活をしたら、そこから苦勞できない。それが基準になってしまうわけです。何もしなくても暮らせて、親が面倒を見たり、フリーターをしたりして食べていけるという状況から一歩踏み出さなければなりません。自らが勉強したい、チャレンジしたいという気持ちにならないと……。『何不自由なく暮らせる』というのは、逆に不幸なんですよ。



フランス ヴァレブランシュに行く

今の時代は、いかに飢餓状態を自分で作るかということが重要です。私の場合は、山に登ることです。山登りは「生きるか死ぬか」です。とにかく空気がないので夜は寝られません。標高5千メートルの世界を体験してしまうと、今が「こんなありがたいことはない」という価値観が生まれるわけです。

私がいつも教えることなのですが、「人生とは何ですか」と若者に聞くと、答えられる人がいないんです。人生とは、「生まれてから死ぬまで」だと私は答えます。生まれてから死ぬまでとは何だというと、「時間」だと思います。だから、人生は「時間」なんじゃないでしょうか。時間は貯金できないんだと……。だから、その時間を活用できるということは、「寄り道をしない」ということだと私は考えています。仕事なら仕事に熱中できる、いわゆる情

熱を持った人は、どの道へ行ってもいずれ道を切り開くと思います。「よい会社」とか「悪い会社」なんて意識したらだめですよ。それよりも、まず「自分との対話」。自分を高めていかないと、いくらよい会社に入っても、だめなものはだめですからね。

だから、社会へ出るということは何の会社に就職するかというよりも、自分の生き方の問題に置き換えたほうがよいと思いますね。とにかく自分を大切にしてください。

これだけ素晴らしい大学だからこそ、ぜひ21世紀を背負う人たちが続々と出てきてほしいですね。

【片山】 本日はお忙しい中、貴重なお話しをしていただき、ありがとうございます。一人でも多くの学生が、西山さんの話に共感し、自分を大切にいただければと願っております。



CAMPUS LIFE

経験を語れる教師に



外国語学部 平成13年卒業
山下 真理子



SPOT 私 は中学生のころから教師になることが夢でした。その後、大学に入学し、教職課程を履修する中でその思いはますます強くなり、教師になることは私にとって夢ではなく目標となりました。そして、教師になるために、また教師になってからのためにも、自分には様々な経験が必要だと感じるようになりました。在学中には、小学校の転地学習の指導補助員や夏休みに水泳のコーチなどをし、子どもたちと出会い、教えるという機会を積極的に求めました。そんなときに「ハワイ・インターンプログラム」のことを知った私は、「海外の学校で教えることができるチャンスはこのプログラムに参加するほかない」と思い、卒業間近ではありましたが参加することにしました。

ハワイでは3週間の滞在中に、7つの学校を訪問しました。それぞれの学校で多くの出会いがあり、様々な体験をしました。同じハワイの学校でも、地域によって建物や生徒の雰囲気の違いがありました。最も印象に残っているのは、最初に行った学校です。とにかく緊張し、準備していた原稿を読むことしかできませんでしたが、昼休みに生徒が踊ってくれたフラダンスは優しく滑らかで、とても感動的でした。日本の文化について授業を行ったのですが、実際は教えるだけではなく逆に生徒たちとの交流を通して、ハワイの文化を学ぶこともできました。



現在、私は中学校で英語を教えています。教員採用試験にも無事合格し、平成16年度からは教諭として働くことになりました。今まで行ってきた生徒指導やハワイでの経験がどのように生かせるか分かりませんが、「日本の英語教育」がよりよいものとなるよう考えています。日本では英語を使う機会が少ないので、「なぜ英語を勉強しなければならないのか」「どこで英語を使う機会があるのか」などと疑問を抱いている生徒もいます。しかし、自分の経験を語って



く中で、一人でも多くの生徒が英語に興味を持ち、こんな世界もあるのだと知ってくればよいなと思っています。そして、英語を使って外国人とコミュニケーションを取り、自分の目で、耳で、体で様々なことを体験したいと感じ、世界に羽ばたいてくれればと願っています。子どもたちの可能性に比べると、私の経験は決して十分とはいえませんが、経験が多ければ多いほど、伝えてあげられることは多くなると考えています。『今できること、今しかできないこと、今という時間を大切にしてください』。これからも私は、チャンスがあればできる限りの経験を積んでいきたいと考えています。そして、その経験をこれからの教師生活に生かしていきたいと思っています。



新春夢トーク

1月22日(木) 15号館地下1階01会議室にて「第9回 新春夢トーク」を開催しました。大学生活の中でチャンスを生かし「夢」に向かって進む5名の在学生・卒業生に、それぞれの体験を通じて学んだことを語っていただきました。夢と希望に満ちたこの発表を聞きにこられたかたたちは熱心に聞き入っておられました。今回の発表の中での共通のキーワードは「きっかけ」という言葉です。皆さんも「きっかけ」を見付け「夢」への扉を開く第一歩を踏み出してみませんか。

—発表者— (順不同)

経済学部	山 幸男「アメリカンフットボールの魅力」
法学部	植田 匠「西日本旅客鉄道株式会社内定」
法学部	田中 佑季「スクールボランティア活動」
外国語学部	河邊 麻利江「オーストラリア・インターンプログラムを体験して」
法学部(卒業生)	勝田 晴彦「不動産鑑定士試験合格」



山 幸男(経済学部4年次生)
「アメリカンフットボールの魅力」

私は、大学3年から始めたアメリカンフットボールについてお話ししたいと思います。私がアメリカンフットボールを始めたきっかけというのは、大学からアメリカンフットボールを始めた兄が、社会人で日本一になった試合を見たことです。こんなに熱くなれるスポーツなら自分もやりたいと思いました。私は大学2年まで硬式野球をしており、アメリカンフットボールはゼロからの出発でした。不安はありましたが、それ以上に「この熱いスポーツをやりたい」「絶対成功したい」という気持ちがあったからこそ、今まで続けることができたのだと思います。けがをして挫折しそうになったこともありましたが、常に上を目指し、自分を奮い立たせて頑張ってきました。厳しい練習を通じて仲間とのきずなも深まり、その結果、今季関西学生リーグで2部優勝を果たすことができました。厳しかった練習も今ではよい思い出です。

私がアメリカンフットボールを通じて学んだことは、チームメイトとのきずなを大切に思う気持ちと、最後まで絶対にあきらめないことです。どんなスポーツでも自分の信念を強く持たなくてはなりません。チャンスはだれにでもあります。そのチャンスをどう生かすかが大切なのだと思います。日ごろから様々なことに目を向けて、チャンスがきたときに、それを生かせるだけの力量を培っておいてください。新しいことに挑戦することに遅いも早いもなく、自分が思ったらやるだけなのです。

卒業後も、私は<鹿島DEERS>でアメリカンフットボールを続けますので、皆さんぜひ応援してください。

植田 匠(法学部4年次生)
「西日本旅客鉄道株式会社内定」



今日は就職試験や将来の夢についてお話ししたいと思います。私はかねてより希望していました、西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)の採用試験にチャレンジし、夢を勝ち取ることができました。JR西日本という会社は、東は新潟県直江津市から北陸、近畿、中国地方までの2府16県と山陽新幹線を管轄する巨大な企業です。全従業員数は約3万5千人にも上り、4月からは私もその一員となります。

従来のJR西日本の採用試験は、大学卒業者を対象とした「総合職試験」と高校卒業者を対象とした「一般職試験」に分かれていましたが、今年度から「一般職試験」への大学生の受験も認められるようになりました。この「一般職」には、運転・車掌業務、駅舎・信号センター業務などの「鉄道職」と、保線管理業務を中心とした「技術職」に分かれており、私はもともと運転業務など現場での仕事を希望していましたので、「鉄道職」という枠で受験しました。試験は1次から3次まであり、1次試験は筆記試験で中学の教科書程度の一般教養。2次から3次試験は性格適性検査と面接試験でした。面接では入社後、具体的に現場で何をしたいのか、また大学4年間で頑張ってきた勉強や課外活動について熱く語ることが大切だと感じました。

入社後は、私が希望する運転業務にはすぐには就くことができません。少なくとも3年間は様々な経験を積むとともに国家試験に合格することが求められているのです。一日も早く運転資格を取って、自分の手で列車を動かしてみたいです。そして、いつかは日本で唯一、現役で活躍している山口線の蒸気機関車を走らせる仕事に携わりたいです。



田中 佑季 (法学部 4 年次生)
「スクールボランティア活動」

私が「ボランティア活動」というものに会ったきっかけは、4月のオリエンテーションで「スクールボランティア」という制度を知ったことです。もともと私はボランティアというものには全く興味を持っていませんでしたが、実際に小・中学校の生徒と接していくにつれ、どんどんボランティア活動に入り込んでいきました。

このスクールボランティア制度とは、本学学生ならだれでも参加することができ、吹田市内の幼稚園や小・中学校で子どもと遊んだり、国語・算数・体育といった授業や、キャンプ、夏祭りなどの行事をサポートします。私は昨年6月から毎週木曜日に吹田市立山田第三小学校4年生の国語・算数・体育・昼休みのドッジボール・給食・掃除などのサポートをしています。

私がスクールボランティアから得たものは、なんとなく大学生活を送っていた私が「教師になりたいという夢」を持てたことです。さらに、この「新春夢トーク」の場で自分の夢を皆さんに披露することにより、その夢の実現に向けて自分を奮い立たせ、頑張る状況を作ることができたということです。

今、皆さんに言うことは「きっかけ」に出会ってほしいということです。一生懸命汗をかいて頑張れば「きっかけ」に出会えるはず。 「きっかけ」を見つけて行動すれば、走り出せるはず。まずは最初のスタートの合図を自分から見つけてください。きっとその辺りに転がっています。今日、この「新春夢トーク」にきていただいた機会に、私たち5名の発表者から「きっかけ」を見つけてくれれば幸いです。

河邊 麻利江 (外国語学部 4 年次生) 「オーストラリア・インターンプログラムを体験して」

私は3年生の前期に「日本語学概論」を受講し、その講義内容に大変興味を持ちました。日本語の定義・位置づけ、世界中のあらゆる角度から見た日本語を学ぶもので、幼いころから当たり前に思っていた日本語というものに魅力を感じ、そのおもしろさを伝えたくなったのです。そして、そのとき大学が主催しているプログラム「オーストラリア・インターンプログラム」に出会ったのです。

このプログラムは、現地(オーストラリア)の小・中学校へ行き、日本語教師のアシスタントや授業を担当するなどの実務体験を行うというものです。オーストラリアでは日本語は優先学習言語の一つですが、私の行った「PARKDALE SCHOOL」の生徒はあまり日本語に興味を示していないようでした。ホストファミリーにも「どうしたら日本語に興味を持ってもらえるか」と相談をしたこともありますが、そんなとき、ホストファミリーのお孫さんに折り紙を教えてあげると大変興味を示してくれて、小学校でも教えると大きな反響がありました。これは、中学校でも同じで、カンガルーや鳥を折り紙で作ると、生徒が集中してくれるようになり、楽しく授業ができるようになりました。生徒たちが覚えてたの日本語で話しかけてくれたときは心から感動しました。

日本に帰国してから1週間後に小学校の生徒たちから手紙が届き「また折り紙を教えてね」との言葉をもらい、3週間自分なりに新しい挑戦をしてきた成果を改めて実感しました。

私がこのオーストラリア・インターンプログラムを通じて学んだことは、「挑戦することの素晴らしさ」です。皆さんもチャンスを見つけて、ぜひ挑戦してください。



勝田 晴彦 (法学部 平成13年卒業)
「不動産鑑定士試験合格」

私は不動産鑑定士2次試験に合格することができました。文系の国家三大資格と呼ばれる試験には、司法試験・公認会計士試験・不動産鑑定士試験があります。私は在学中、バンド活動とアルバイトに明け暮れ、卒業にも魅力を感じることができず、勉強する気をなくしかけていました。そんなとき、実家が不動産業を営んでいることもあり、宅地建物取引主任

試験の資格を取ることにしました。宅建の試験には法律が関係しており、それが「きっかけ」で法律関係の授業に積極的に出席し始めました。勉強するにつれ法律がおもしろくなり、日常生活にも役立つことが多く、残りの学生生活は楽しく勉強することができるようになりました。大学卒業後も、もっと法律の勉強をしたいと思い、2年間専門学校に通った結果、不動産鑑定士の資格を取得することができました。

今日私が皆さんにお伝えしたいのは、こんな私でも国家三大資格の一つが取得できるということです。始めるのはいつでもいいのです。すべては「きっかけ」です。「きっかけ」があれば上昇できるのです。夢を持っている人、夢を探している人、あるいは夢や希望がない人もこの新春夢トークにきたこの機会を「きっかけ」にして、自分に合った資格を探してみてください。資格を取ると①専門知識が身につく、②就職に有利、③日常にも専門知識が応用できる、④独立の可能性があるなどのメリットがありますが、何にも増して自分に自信が持てるのです。

どんな仕事に就いたらいいか全く分からない人は、まず世の中にどんな職業があるのかを探してください。それを研究すれば「自分が何に向いているのか」、「どんな職業に就きたいのか」が分かるでしょう。そのことが分かれば、おのずと自分の将来が見え、そのためにどんな勉強が必要なのか分かるのではないのでしょうか。現在は在学中から資格を取り就職活動に臨むことが当たり前になっています。遊びも大切ですが、後悔しないように、勉強して資格を取ることも必要かと思います。皆さんのご健闘を心からお祈りしています。



CLUB ACTIVITIES

CLUB ACTIVITIES

空手道部

私たち空手道部は、^{おしだ}鷲田正和監督やOBのかたがたにご指導いただきながら、日々稽古に精進しています。大阪学院大学における「系東流^{しとう}空手道」は、武道にスポーツ性を取り入れた、心身の粘り強さと緻密さを問う競技です。部員数は41人と大所帯で、一人ひとりが自ら目標を見付け出し、さらに部としても全員が一丸となって、技術の向上と精神の充実を追究しています。

「平成15年度 全関西学生空手道選手権大会」では、成年男子組手団体戦2部で準優勝を取めることができ、念願であった1部昇格を果たすことができました。1部昇格は、かねてからの大きな課題であり目標でもあったので、その達成感は言葉で表現できないほどでした。

しかし、先日行われた「平成15年度 全日本学生空手道選手権大会」では、初戦敗退という残念な結果に終わってしまいました。今後はこの反省点を生かし、改善点を見付け、1部を維持し続けられるように稽古やトレーニングに励んでいきたいと考えています。そして、常に挑戦する心を持ち続け、頑張っていきますのでご声援のほどよろしくお願いいたします。

主将 法学部4年次生 青山 陽



マネージャーは部員のサポートとクラブの運営が主な仕事です。選手の人数が多く、大変なこともあります。体調管理や環境整備は重要なことですので、一生懸命サポートしています。けがの多い競技のため心配することもよくありますが、今年の1部昇格や試合に勝ったときの選手笑顔を見ると、何よりも私たちにとてもうれしい瞬間です。やりがいのある仕事でこれからも努力していきますので、選手ともどもよろしくお願いいたします。



主務
外国語学部4年次生
深尾 小恵



会計
国際学部4年次生
石井 美希

CLUB SCHEDULE

CLUB SCHEDULE

体育会系クラブ

クラブ名	日程	行事・大会名	場所
合気拳法部	3月	愛知県硬式空手道選手権大会	未定
アイスホッケー部	3月中旬	関西学生氷上競技選手権大会アイスホッケー競技会	臨海スポーツセンター、高槻O2スケートリンク ほか
	4月中旬～下旬	大阪谷カッパ	上野芝アイススケートリンク
アメリカンフットボール部	4月～7月	西日本アメリカンフットボールリーグ	王子スタジアム ほか
空手道部	4月4日(日)	川西市大会	川西市立総合体育館
	4月29日(木)	全関西学生空手道選手権大会	未定
弓道部	3月下旬～4月	関西学生弓道新人戦	各大学弓道場
硬式庭球部	3月15日(月)～26日(金)	関西学生地域テニストーナメント	各大学テニスコート
	4月24日(土)～5月5日(水)	関西学生春季テニストーナメント(予選)	各大学テニスコート
硬式野球部	4月3日(土)～5月31日(月)	関西六大学野球連盟春季リーグ戦	西京極球場・南港球場 ほか
ゴルフ部	3月16日(火)・17日(水)	Dr.Donnis Thompson Rainbow Wahine Golf Invitational	KANEOHE KLIPPER GOLF COURSE (Marine Corps Base, Hawaii) ※女子のみ
	4月12日(月)	関西学生男子連盟杯予選	能勢カントリー倶楽部
	4月13日(火)・14日(水)	関西学生女子連盟杯	奈良柳生カントリークラブ
	4月21日(水)～23日(水)	関西学生男子連盟杯	城陽カントリー倶楽部
サッカー部	4月上旬～5月中旬	関西学生サッカー春季リーグ(1部)	各競技場
柔道部	4月	吹田市長杯	洗心館
女子バレーボール部	4月18日(日)～5月30日(日)	関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦(4部)	各大学体育館
スキー部	3月5日(金)～10日(水)	全関西学生スキー選手権大会	新潟県糸魚川温泉スキー場
ソフトテニス部	4月下旬	関西学生ソフトテニス春季リーグ戦(男子3部・女子5部)	未定(福知山)
日本拳法部	4月	日本拳法和歌山県大会	未定
	4月	西日本学生拳法選手権大会	未定(大阪府立体育館)
バスケットボール部	4月中旬～5月上旬	関西学生バスケットボール選手権大会	未定
	4月中旬～5月上旬	関西女子学生バスケットボール選手権大会	未定
ハンドボール部	4月上旬～	関西学生ハンドボール春季リーグ戦(4部)	未定
バレーボール部	4月10日(土)～5月30日(日)	関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦(2部)	各大学体育館
フェンシング部	4月下旬	関西学生フェンシングリーグ戦(2部)	大山崎体育館
洋弓部	4月4日(日)～5月15日(土)	関西学生アーチェリーリーグ戦(男子2部・女子2部)	各大学洋弓場
陸上競技部	3月26日(金)	出稽古カッパ	未定
	3月14日(日)	京都シティハーフマラソン	平安神宮前
	4月	大阪インターカレッジ	万博競技場
	4月	京都インターカレッジ	西京極競技場

※現在未定の行事・大会につきましては、詳細が決まり次第随時ホームページでお知らせします。
http://www.osaka-gu.ac.jp/club/cl_frame/index.html

保健センタだよ！

快適 VDTライフ

コンピュータなどのVDT (Visual Display Terminal) 操作に起因する眼精疲労をはじめ、様々な身体症状、精神症状を訴える人が増えています。

このようにVDT操作によって起こる疲れ目など、心身に影響の出る病気を、VDT症候群（別名テクノストレス眼症）と呼んでいます。

<VDT症候群の症状>

- 視覚系に表れるもの……………目の乾き・痛み・充血感・かすみ、視力低下・眼精疲労
ひどくなると、結膜炎・ドライアイ（涙液の減少）
- 筋骨格系に表れるもの……………首や肩の凝り、首から肩・腕の痛み、背中・腰・足の倦怠感
慢性的になると、背中への痛み、手のしびれ
- 精神神経系に表れるもの……………頭痛、目まい、倦怠感、食欲不振、過食、いらいら感、
生理不順や流産、不安感、抑うつ状態



<VDT操作を快適にする4ポイント>

適度な休憩……………1時間に10～15分の休憩を取り、遠くの風景を眺めたりして、目を休めましょう。

正しい作業姿勢……………自分に合った高さの机・いすの調整をするとともに、いすに深く腰をかけ、背もたれに背を十分に当て、足裏全体が床に接した姿勢が基本です。

最適な作業環境……………窓からの光が気になる場所では、カーテンやブラインドを利用しましょう。

適度な運動で体の緊張をほぐす

●目をすっきりさせるマッサージ

- ① 目頭部分を軽い痛みを感じる程度に、5秒ほど押す。
- ② そのまま、まゆ頭からまゆ尻までを骨のくぼみに沿って少し強めに押していく。
まゆ尻まできたら、そこをまた5秒ほど押して、最後にこめかみの部分をゆっくりと押す。
- ③ 目の下の骨の部分を目頭から目尻の方へ、人差し指と中指で「グリ」という感じで円を描くようにマッサージする。
- ④ ①～③を2回～3回繰り返す。

●首・肩をほぐすストレッチ

- ① 胸を広げつつ、肩甲骨^{けんこうかく}にくっつけるような感じで、ひじを曲げて腕を後ろに持っていく。
- ② 気持ちがいいところで、しばらくそのまま止める。
- ③ 力を抜いて、息を吐きながらゆっくりと腕を元に戻す。このとき、肩から首にかけて温かいものが上ってくるのを感じる。

そのほか、目の健康に、ブルーベリーを使った健康食品の利用や、アロマテラピーで気分をリフレッシュするなど、自分に合った方法を取り入れて、楽しいVDTライフを過ごしてください！

VDTを使用することで何か不調を感じた場合は、早めに眼科専門医へ相談しましょう！

CAMPUS NEWS DIGEST

人 事

退職〔平成15年12月31日付〕

外国語学部 伊勢野 薫 教授

バンコク大学との学術交流協定締結



平成15(2003)年12月、バンコク(タイ)にあるバンコク大学(私立)と学術交流協定を締結しました。経済、人文科学、コンピュータ科学など9つの専攻分野があり、さらに、専ら英語で講義を行うプログラムも提供されています。現在同大学には約26,000名の学生が学んでいます。

業界研究セミナー



〔10月30日(木)・11月4日(火)～8日(土)〕

進路を決める際、社会でどのような仕事があるのかを知っておく必要があります。就職センターでは、6日間にわたりアパレル、メーカー、情報処理、流通業界の人事担当者を引き、採用・就職活動についての説明をしていただきました。最終日には、総括として「業界研究は仕事研究」をテーマに講師を招き、ご講演をいただきました。学生にとっては、ふだん見えない仕事の裏側を見るよい機会となったようです。1年次生の参加もあった今回のセミナーは、進路を考えるよい動機づけとなったことでしょう。

Halloween Party



〔10月31日(金) 2号館2階01教室〕

ハロウィンパーティを行いました。参加者は約50名、先生がたの参加もあり、楽しいイベントとなりました。

ハロウィンについてのプレゼンテーションやゲームを行うことで、楽しみながら異文化について学ぶことができました。また多くの学生が工夫した仮装を行い、いつもと違う雰囲気を味わうこともできました。

就職ガイダンス ～内定者からのメッセージ～



〔11月8日(土)〕

就職活動を迎える大学3年次生・短期大学1年次生を対象に、各学部の先輩がたをパネラーとして迎え、就職活動の進め方などの説明をパネルディスカッション形式で行いました。就職活動を行うにあたり、様々な不安を抱いていた学生たちも、先輩の体験談や失敗談、就職活動の際に役立った情報やアドバイスなど、身近な先輩の話を聞くことで、それぞれの方向性を見いだしたように感じられました。

<パネラー内定先>

ロイネ（流通科学部）、日本食研（経営科学部）、
アイル（法学部）、セブノーイレブン・ジャパン（国際学部）
京都ソフトウェア（情報学部）、フジッコ（企業情報学部）
日伝（短期大学）

**経済学部講演会
流通産業の現状と外資参入について**



〔11月22日(土) 11号館 1 階01教室〕
イズミヤ総研取締役の清水正博氏に、激動の流通業界に関する問題の分析をはじめ、就職についてのご講演をいただきました。参加した約100名の学生は、プレゼンテーションソフト「PowerPoint」による画像を多用した講演に熱心に聞き入っていました。最後にたくさんの質疑応答がなされ、盛況のうちに学部講演会は終了しました。

**2003 フェニックス フェスティバル
～ Latin Music Hearty Concert ～**



〔12月11日(木) 5号館地下2階アトリウム〕
2003年の最後を飾るコンサートを開催しました。ラテン奏者の野上圭三氏、池田定男氏ほかサポートバンドPacha Mamaの共演で、フォルクローレ、サルサ、ラテン・スタンダードやオリジナル・ナンバーなどを演奏していただきました。
今回のコンサートには、本学アカペラサークルBrillanteも参加し、一足早いクリスマスソングを皆様にお届けしました。会場は、優しく温かい歌とメロディーに包まれ、心に響くコンサートとなりました。

イルミネーション



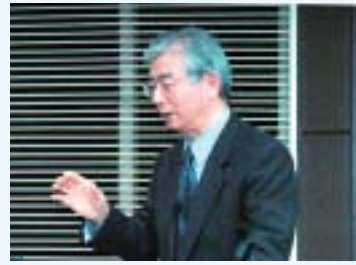
〔12月1日(月)～12月25日(木)〕
キャンパス内の木々に1万5千個の電飾を施し、イルミネーションの点灯を実施しました。暗闇に浮かぶ時計塔と木々にきらめく光のファンタジーが冬の夜を彩る中、訪れた多くのかたがたはオープンカフェによるホットドリンクサービスや、学生によるミニコンサートなどを楽しんでおられました。

Intercultural Party



〔12月19日(金) K.M. 36BANCHI〕
国際センターとI-Chat Loungeによる合同イベントとして、Intercultural Party (異文化交流会) を開催しました。在学生と留学生が各国のクリスマスや年末年始の過ごし方を発表したり、クイズやゲームをしながら楽しく異文化について学び、親交を深めました。

退職記念講義



鎮西 清高 情報学部 教授
〔1月16日(金) 15号館 1 階03教室〕



桑田 秀夫 経営科学部 教授
〔1月20日(火) 15号館地下1 階01会議室〕



工藤 一郎 国際学部 教授
〔1月21日(水) 15号館地下1 階01会議室〕

今年度をもって退職される3名の教授の記念講義を次のテーマを基に行いました。
鎮西教授「氷河時代像の変遷」
桑田教授「日本の経営」
工藤教授「書物について―東洋文献史の底流―」
スクリーンや貴重な資料を使った興味深い講義に、多くの学生が熱心に耳を傾ける姿が見受けられました。講義後には、受講生より花束の贈呈や記念撮影が行われ、先生がたの退職が惜しまれる様子が伺われました。

INFORMATION

March ～

庶務課

卒業式

3月19日(金)

Ⅰ部 10:00 開式	大 学	流通科学部・経営科学部・法学部 外国語学部・情報学部
	大 学 院	商学研究科・法学研究科
Ⅱ部 11:30 開式	大 学	経済学部・国際学部・企業情報学部
	大 学 院	経済学研究科・国際学研究科
	短期大学	経営実務科・国際文化学科

場 所：体育館（保護者の皆様も自由にご出席いただけます）



学 生 課

謝恩パーティー

3月19日(金) 17:00開宴

会 場：リーガロイヤルホテル(大阪) 光琳の間
〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番68号
TEL. 06-6448-1121

対 象：卒業生（平成15年度）



国際センター

平成16年度 カナダ・インターンプログラム参加者募集中

夏期休暇中にバンクーバーもしくはビクトリアでの英語研修と現地企業でのインターンシップ（実務研修）を組み合わせたプログラムを実施します。初めの1か月間の英語研修は徹底的な英語使用の方針のもと、TOEIC®スコアアップ、希望するインターンシップ先での面接対策や英文履歴書作成など実用的な英語力を身につける内容です。インターンシップの面接に合格すれば、プログラム後半は現地の旅行会社、ホテル、出版社、広告会社、金融機関、貿易会社などで実務体験をすることができます。将来、海外での就職を希望する高い目標を持った学生を募集しています。

期 間：平成16年度 夏期休暇期間中（約2か月）

募集人数：10名（バンクーバー5名、ビクトリア5名）

参加費用：約50万円（航空運賃、語学学校授業料、ホームステイ費、食費などを含む）

募集期間：3月中旬まで

※詳しくは国際センター（2号館2階）にお問い合わせください。



就職センター

公務員説明会

就職センターでは、次のとおり大学3年次生・短期大学1年次生を対象に、「公務員説明会」を開催します。

「公務員説明会」（3/1～3/5）

皇宮警察本部・防衛庁・近畿圏の警察本部や消防局の採用担当者を招き、業務内容、採用試験対策、求める人材などをお話いただきます。あこがれの公務員になるためには、早めの対策が不可欠です。将来、公務員になることを考えている学生は、積極的に参加してください。

※詳細は、就職センターカウンターで確認してください。



本年度内定者の声を聞くと、「学内公務員説明会と、各機関の個別の説明会に参加し、生の情報を聞き、内定を得た」と報告しています。皆さん、このような機会を有効に活用しましょう。

TIMETABLE

3月1日(月) 卒業合否発表(大学・短期大学)
後期追試験・再試験受験申込
(大学・短期大学)〔至2日(火)〕
4日(木) 後期追試験・再試験
(大学)〔至8日(月)〕
(短期大学)〔至6日(土)〕
12日(金) 後期追試験・再試験合否発表
(大学・短期大学 卒業年次生)
19日(金) 卒業式(共通)
24日(水) 前期オリエンテーション(大学)
〔至4月8日(木)〕
27日(土) オリエンテーション(大学院)
〔至4月9日(金)〕
31日(水) 前期オリエンテーション(短期大学)
〔至4月9日(金)〕
学年終わり(共通)

4月1日(木) 学年始め(共通)
2日(金) 履修登録締切(大学4年次生以上・
短期大学2年次生以上)
3日(土) 入学式(共通)
オリエンテーション
(大学1年次生)〔至8日(木)〕
(大学院1年次生)〔至9日(金)〕
5日(月) 履修登録締切(大学3年次生)
前期オリエンテーション
(短期大学1年次生)〔至9日(金)〕
6日(火) 履修登録締切(大学2年次生)
キャリアアッププログラム説明会
(大学・短期大学)
7日(水) スクールボランティア説明会
(大学・短期大学)
8日(木) 履修登録締切(短期大学1年次生)
10日(土) 前期授業開始(共通)
13日(火) 履修登録締切(大学1年次生)
16日(金) 履修訂正願提出締切(短期大学)
20日(火) 履修訂正願提出締切(大学)
30日(金) 年間一括・前期分納学費納付期限(共通)

エクステンションセンター

2004年 春夏講座 講座一覧

多様な興味・関心にお応えすべく次のとおり多彩な講座を開講します。

資格取得コース	語学コース
社会保険労務士平成16年受験速修講座	TOEIC®テストスコアアップ講座
宅地建物取引主任者受験講座	TOEIC®テストスコアアップ夏期集中講座
行政書士受験講座	TOEFL®テスト入門 基礎力アップ講座 ー留学を考え始めたらー
国内旅行業務取扱主任者受験講座	TOEFL®テスト留学準備集中講座
一般旅行業務取扱主任者受験講座	英会話入門 ー英会話の基本の「き」ー
通関士受験講座	英会話初級 ー楽しい英会話ー
気象予報士受験講座	英会話中級 ーますます楽しい英会話ー
ビジネス実務法務検定2級受験講座	中国語会話入門 ーはじめの一步中国語ー
ビジネス実務法務検定3級受験講座	中国語会話初級 ー中国語であいさつをー
販売士検定2級受験講座	ドイツ語会話入門 ー初めての人も大丈夫、楽しく学ぼうー
販売士検定3級受験講座	フランス語会話入門 ー初めての人も大丈夫、楽しく学ぼうー
簿記検定2級受験講座	フランス語会話初級 ーフランス語満喫の15日間ー
簿記検定3級受験講座	親子でおしゃべり in English (小学1・2・3年生対象)
色彩検定2級受験講座	親子でおしゃべり in English (小学4・5・6年生対象)
色彩検定3級受験講座	海外旅行をより楽しむための英会話(初心者対象)
インテリアコーディネーター受験講座(1次試験対策)	外国語としての日本語入門
就職対策コース	生活・教養コース
就職筆記試験対策講座(SPI・一般常識)	エレガントマナー講座入門編(女性対象)
就職面接対策講座	エレガントマナー講座上級編(女性対象)
公務員 国Ⅱ・地方上級試験対策講座	パーソナルカラー診断講座
法科大学院適性試験対策講座	香りを楽しむ中国茶
マルチメディアコース	イベントフラワーアレンジメント ー母の日のプレゼントー
Word入門	イベントフラワーアレンジメント ーJune Brideー
Excel入門	イベントフラワーアレンジメント ーPAPA's Dayー
中高年のためのはじめてのパソコン(Windows2000)	イベントフラワーアレンジメント ーベジタリアン・アレンジメントー
デジタルカメラを使って暑中見舞・ポストカードを 作りましょう	アロマテラピー入門
マイクロソフト オフィス スペシャリスト Word2000受験講座	手話入門
マイクロソフト オフィス スペシャリスト Word2000エキスパート受験講座	カウンセリング体験セミナー
マイクロソフト オフィス スペシャリスト Excel2000受験講座	コーチング入門 ー友人・職場・親子・夫婦などの人間関係を円滑に！ー
マイクロソフト オフィス スペシャリスト Excel2000エキスパート受験講座	くらしに活かすクリティカル・シンキング ー自分の考え方を見つめ直そうー
初級システムアドミニストレータ受験講座	楽しいフラダンス(女性対象)
初級システムアドミニストレータ受験講座(直前対策)	楽しいウクレレ入門
初級システムアドミニストレータ受験講座(e-Learning活用)	もっと弾きたい人のウクレレ
信頼性とテストから見たLSIの品質評価	リボンで作るハワイアン・レイ
健康・スポーツコース	仕事・家事・趣味に活かすファイリングの極意
はじめてのテニス(小学1・2・3年生対象)	関西経済活性化 ー阪神ファンの経済革命ー
はじめてのテニス(小学4・5・6年生対象)	日本の政治を整理する ー政権交代の可能性ー
上級テニスクリニック	奈良町探訪 ー新緑の古都・歴史散歩ー
ゴルフ入門	
中・上級者のためのゴルフ	
合気道入門 ー護身と健康ー	
有酸素運動とストレッチで体と心に栄養を！	
誰もが出来る最強のツボ ー手のひらツボ療法ー	

※詳細につきましては、ホームページをご覧ください
か、エクステンションセンターまでお問い合わせく
ださい。
エクステンションセンター（2号館2階）
〔9～17時受付（日曜日・祝日等を除く）〕
TEL：06-6381-8434(代表)
URL：http://www.osaka-gu.ac.jp/life_edu/index.html